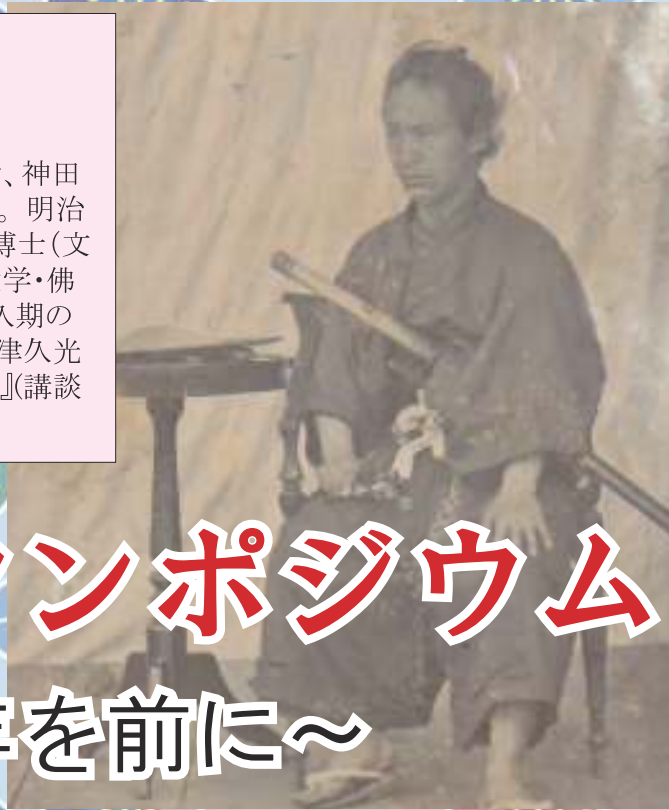


講師紹介

町田明広氏



日本近現代史(明治維新史)研究者、神戸外語大学准教授・日本研究所副所長。明治維新史学会理事・例会担当委員長、博士(文学)、千葉商科大学・国際医療福祉大学・佛教大学非常勤講師。著書に『幕末文久期の国家政略と薩摩藩』(岩田書院)、『島津久光＝幕末政治の焦点』、『攘夷の幕末史』(講談社)、『グローバル幕末史』(草思社)



近藤長次郎シンポジウム

～維新150年を前に～

★タイムテーブル (予定)

13:00～14:30

町田氏による基調講演
「ユニオン号事件の実相
—近藤長次郎の動向を中心に—」



長次郎が薩摩藩に提出した「上書」



注目の史料
続々紹介!

14:45～16:00

パネルディスカッション+質疑応答

長次郎の役割が分かる薩摩から長州への親書



●申込方法：電話(088-820-1115)にて。10月1日の10時から受付開始。先着60名。

2017年11月23日 (木・祝) 13:00～16:00

龍馬の生まれたまち記念館 2Fふれあいホール

※参加料：一般300円 (入館料込み)

●貴重な史料も展示！

期間：11月3日(金・祝)～23日(木・祝)

龍馬の生まれたまち記念館の常設展会場で、長次郎に関する貴重な史料を公開します。これを機に、ぜひご覧ください。



(資料提供：高知市民図書館等)

■近藤長次郎(一八三八～一八六六)
天保九年、現・高知市上町の餅菓子商に生まれる。画家・河田小龍、幕臣・勝海舟の門下を経て、坂本龍馬らと薩摩藩の庇護下に入る。その後、薩長同盟に向けて尽力。その類まれなる営業センスは、薩摩・長州両藩の最高権力者からも信頼された。

主催＝龍馬の生まれたまち記念館、龍馬研究会

●お問い合わせ：龍馬の生まれたまち記念館 高知市上町2-6-33 電話：088-820-1115 FAX：088-822-1835